

---

## 在宅血液透析(HHD)の情報提供は早期が望ましい

---

医療法人衆和会 長崎腎病院

○田賀農恵 佐藤泰崇 林田征俊 白井美千代 丸山祐子 原田孝司 船越哲

### 【目的】

これまでの意識調査の結果、透析歴が短い患者ほど HHD に関心が高い傾向が示唆されたため、我々は新規導入患者や他院からの転入患者に対して、病状説明の際に必ず HHD の情報提供をしている。今回、透析導入1年未満で HHD 訓練を開始した症例について報告する。

### 【結果】

2020年1月までにHHDへ移行、または訓練を行った患者は35名で、そのうち13名が透析導入1年未満でHHD訓練を開始しHHDを導入していた。これら早期開始患者の年齢は30～70歳代と幅広かったが、有職者であり体調改善や社会復帰を目的にHHDを希望されていた。

### 【考察】

透析歴が長い患者ほどライフスタイルが確立されており、HHDへの関心も高くないのかも知れない。透析導入期にHHDに対する教育を行うことは、治療の選択肢を増やし、その人にあったライフスタイルを確立することが出来る可能性がある。